

開催日	2025年3月22日(土)
開催時間	13:30～16:50
名称	SDGs 達成に向けた日本技術士会の取り組み
主催	(公社)日本技術士会神奈川県支部
開催場所	産業貿易センター B1F B102 号室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	33名(会場14名+Web 19名)

内容

I 講演概要

【講演1】 日本技術士会のSDGsに対する提案 ―過去、現在、未来―

講師:掛川 昌俊 氏 掛川技術士事務所 代表 技術士(機械部門、衛生工学部門、総合技術監理部門)

会員による活動グループ「SDGs技術支援プラットフォームプロジェクト」は、SDGs達成の一翼を成し、社会貢献することを目的として、2024年に設立された。SDGsの必要性は多くの人が理解しているが、具体的にどう取り組めばよいのか、あまり明確ではない。当グループは、技術士会として、また技術士としての具体的な活動につなげるための方策を提案している。

1. これまでの取り組み

- (1) 月刊「技術士2019年7月号」(SDGs特集)
- (2) SDGs アクションプラン2021における国際的技術士資格活用
- (3) 2021年技術士全国大会(大会テーマ:SDGs)
- (4) 2024年日韓技術士国際会議

2. 現在行っている取り組み

活動グループSDGs技術支援プラットフォームプロジェクトが行っている活動

3. 将来展望

日本技術士会のSDGsに対する活動の方策について提案



講演 1
掛川氏



講演 2
境氏

【講演2】 SDGs達成に向けた国際技術協力について―中央アジア(キルギス)での体験談を織り交ぜて―

講師:境 大学 氏 境技術士事務所 代表 技術士(資源工学部門)

SDGs(持続可能な開発目標;Sustainable Development Goals)とは、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の国際目標のことである。日本政府は、2016年、総理を本部長、全閣僚を構成員とする「SDGs推進本部」を設置し、国内実施と国際協力の両面で取り組む体制を整えた。日本は国内では生活改善を図りつつ、ODAによる国際協力の推進により、世界に大きく貢献してきた。

本講演は筆者が体験した中央アジア(キルギス)での国際技術協力についての話である。

第1章はSDGsとは何であるか、資源工学の観点からSDGsの17の目標から関連するものを選んだ。

第2章はODAによる国際技術協力について、国際協力を要請するための必要条件やODAの意義について深掘りし、日本も戦後、国際金融機関から援助を受け、国内インフラを整えてきた歴史があることを認識した。

第3章では、キルギスはどういう国なのか、任国事情、食文化にも具体的に触れた。

第4章は筆者がキルギスで行った技術移転の内容をご紹介した。

第5章では、最後の話題として中央アジアの伝統的な弦楽器の一つで、キルギスの三弦楽器 コムズ(Komuz)に触れ、この楽器は中央アジアのキルギス人が最も好む楽器の一つで、日本の津軽三味線と同じルーツではないかと言われているが、日本・キルギス文化交流へ発展した。